

【配布資料集】

No.1~17

研修参加にあたっての手引き

■新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、今年度は①事前課題・②WEB 聴講・③オンライン演習により実施いたします。

■計画的かつ効率的に演習効果を獲得できるよう、次のステップの通り実施してください。

※事前課題の未実施・ステップが正しくない場合は、受講をお断りすることがあります。

《演習の流れ》

ステップ	内容／受講方法	所要時間	様式・テキスト
ステップ1	事前学習の実施	—	事前課題①・②
ステップ2	WEB 聴講①（個人ワークあり）	130分	テキスト ワークシート等
ステップ3	オンライン演習①：1日目	150分	
ステップ4	WEB 聴講②	50分	
ステップ5	オンライン演習②：2日目	120分	
ステップ6	WEB 聴講③	10分	

《各ステップの説明》

ステップ1

【事前課題①】別紙参照

- ▶ 「演習事例(配布資料集「01-1」～「03」)を十分読み込見込んでください。(演習当日に読み込む時間はありません。)
- ▶ 本人像をイメージしながら事例を読み、「大宮正さんってどんな人？」(別紙添付)に記入してください。(できる限り多くの内容を記載すること。)

【事前課題②】別紙参照

- ▶ 演習では、事例を使用してグループワーク・ロールプレイ等を行います。
- ▶ 参加にあたり、事例に登場する事業所(共同生活援助・就労継続支援B型)、及び個別支援計画やサービス利用等計画などの事前理解が必要です。
- ▶ 演習までに、障害福祉サービス事業所とご所属事業所の事前理解を深めてください。

1) 演習事例に登場する障害福祉サービス事業所の事前学習
(就労継続支援B型事業所・共同生活援助事業(グループホーム))

2) ご自身が所属する事業所の事前学習
(個別支援計画の活用・サービス等利用計画の理解・サービス担当者会議の理解)

※事前課題の終了後、所属事業所のサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者(以下、サビ管・児発管)、または施設長(管理者)から確認を受けてください。

※事前課題にあたり分からない点は、適宜、サビ管・児発管等から指導を受けてください。

ステップ2 WEB 聴講①（個人ワークあり）

・各自、WEB 聴講を実施してください。（途中、個人ワークの時間があります。）

①オリエンテーション（全体ガイダンス）：30分

②個別支援計画の作成について：100分

オンライン演習①までに聴講

ステップ3 オンライン演習①：1日目

・オンライン（ZOOM）にて演習を実施します。

①オリエンテーション（挨拶等）：15分

②個別支援計画の作成について（グループワーク）：135分

ステップ4 WEB 聴講②（個人ワークあり）

・各自、WEB 聴講を実施してください。

①個別支援計画の作成について（まとめ）：20分

②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）について：30分

オンライン演習①終了後、
オンライン演習②までに聴講

ステップ5 オンライン演習①：2日目

・オンライン（ZOOM）にて演習を実施します。（途中、個人ワークの時間があります。）

①個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）について（グループワーク）：105分

②演習3日間の振り返り（全体）：15分

ステップ6 WEB 聴講③

・各自、WEB 聴講を実施してください。

①演習のまとめ：10分

オンライン演習②終了後に聴講

事前課題①：事例概要の整理

大宮 正さんってどんな人？

所属： _____ 氏名： _____

本人が希望する事や困っている事など（主訴や意向）

■どんな生活をしてきたか？
困っている事の背景は？

→本人を取り巻く環境、過去の体験なども…。

■どんな特徴がある？

→ADL、コミュニケーション、
対人関係は…

■ストレングス

長所、強み、得意なところ、可能性は？

→課題と思っている所も発想を変えれば…。



■具体的な到達目標（本人のニーズ）

-
-
-

※事業所のサービス管理責任者・児童発達支援管理者による確認サイン

上記、事前課題の終了後、サビ管・児発管または施設長（管理者）に署名・捺印を受けること。

役職： _____ / 氏名： _____ 印

事前課題②：

令和4年度 埼玉県サービス管理責任者等基礎研修

サービスの理解、事業所の理解

所属： _____ 氏名： _____

①演習事例に登場する障害福祉サービス事業所について、事前理解を深めてください。

■「就労継続支援B型事業所」とは、どのようなところですか？（法的根拠、特徴、利用者像など）

■「共同生活援助(グループホーム)」とは、どのようなところですか？（法的根拠、特徴、利用者像など）

②ご自身が所属する事業所の支援において、事前理解を深めてください。（□にチェック）

■ご所属事業所の個別支援計画の活用

①自身が活用している → ②自身は活用していない → ③見たことがない →

→(②・③を選択した方)、個別支援計画を確認してきてください → 確認済み →

■事業所利用者のサービス等利用計画について

①見たことがあり活用している → ②見たことはあるが活用していない → ③見たことがない。

→(②③を選択した方)、サービス利用等計画を確認してきてください。 → 確認済み →

■サービス担当者会議について

①参加したことがある。→ どのような会議でしょうか？（参加者、目的、その他、感想など）

②参加したことがない。→ サビ管・児発管に聞いて整理してください。（参加者、目的、その他、感想など）

※事業所のサービス管理責任者・児童発達支援管理者による確認サイン

上記、事前課題の終了後、サビ管・児発管または施設長（管理者）に署名・捺印を受けること。

役職： _____ / 氏名： _____ 印

01-1 事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

大宮 正 さん

記入者 支援センターあおぞら 相談支援専門員 与謝野一茂 さん

事例タイトル	父親と弟との暮らしが困難になり、グループホームと就労継続支援 B 型事業所を利用しながら地域で生活することを希望している事例。
相談経過の要約	<p>正さんは、A 市で 2 人兄弟の長男として出生。初語や歩行が少し遅かったが、3 歳児健診などでは特に保健師の指摘事項は無かった。小学校の 1～2 年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く、席を立って教室内を歩き回わり、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあった。</p> <p>小学校 3 年生からは、自閉症・情緒支援の特別支援学級に移った。小学校 6 年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から、担任からは、中学は特別支援学校への進学を勧められた。その際、児童相談所で療育の判定を受け、軽度の知的障害であった。</p> <p>中学は A 市内にある特別支援学校に進学。中学校での生活は、太鼓部に所属し部活動では楽しく過ごしていた。太鼓部の顧問は、正さんのできるところは積極的にほめて、苦手なところは根気よく教えてくれた。また昆虫も大好きで、図鑑を見たりしている時は周りの声が聞こえないほど集中していた。同じクラスに昆虫好きの友達がいた。父親が大工だったこともあり、正さんも木工に興味をもって犬小屋をつくった。</p> <p>正さんが中学校 2 年生の秋に両親が離婚。母親が統合失調症で自分のことでせいっぱいで家族の面倒をみられなくなり家を飛び出してしまった。以後、父親と弟の 3 人暮らしとなった。その後、正さんは母親と 1 年に 1～2 回は会っている。離婚後、父親は家のことを何とかこなしていたが、徐々に家の中が乱雑になり、正さんも学校を休みがちになった。</p> <p>特別支援学校の高等部の入学を機に、平成 24 年度から児童福祉法の改正により、児童発達支援事業の一環として創設された放課後等デイサービス事業所「キッズサン」を週 2 回利用し、療育支援を受けた。</p> <p>その後、正さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司がいて正さんも素直に対応した。上司がわかるまで丁寧に教えてくれて、ときに叱咤激励してくれたことで、安心して働いていた。しかし、1 年後に上司が変わり、その上司が他の職員の対応に追われて、正さんにあまり気を配らなくなった。それから半年後に、正さんは「上司からの注意が怖い」「仕事が集中して取り組めない」などの不安を訴え、工場に通えなくなり、そのまま退職してしまった。それ以降「誰とも会いたくない」と話して、求職活動もなかなかできず自宅でのひきこもり状態の生活になっていた。</p>

	<p>正さんが退職して半年後、大工をしていた父親が通勤途中に交通事故にあい大けがをした。父親も右半身に麻痺が残り、仕事ができなくなった。最初のころは貯蓄で何とか生活していたが、すぐに生活保護となった。それまで父親が家事などを行っていたので、さらに乱雑な状態となり、食事も偏りが見られた。</p> <p>父親から「正の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があり、正さんも「お父さんと離れて、自分で生活できるようになりたい」と希望した。正さんは、相談支援センターあおぞらで相談を始めて、見学等も行いう中「相談しながらやっていきたい」「今は朝も起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」。でも、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」し「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とグループホームを利用しながら、就労継続支援 B 型事業所に通所することを希望した。</p>
<p>年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴</p>	<p>年齢 22 歳 性別（男性） A 市で生まれ。</p> <p>【家族構成】</p> <p>父：もともとは大工。以前はとても面倒見が良かった。無職 交通事故で右半身に麻痺が残る。何とか自分のことはこなせるが、子どもたちの世話をすることができなくなっていた。正さんの施設入所を考えていたが、正さんの「自立したい」という気持ちを聞いて、正さんには福祉サービスを利用して自立してほしいと思っている。</p> <p>母：A 市から少し離れた B 市に居住。生活保護を受給して一人暮らし。統合失調症の治療中で、正さんとの同居は難しい。年に 1～2 回、正さんと会っている。</p> <p>弟：5 歳下。高校 3 年生。高校卒業後は就職する予定だが、兄の面倒までは見られないとのこと。</p>
<p>手帳・区分</p>	<p>療育手帳 障害程度は軽度</p> <p>障害支援区分 3</p>
<p>生活歴及び病歴</p>	<p>【生活歴】</p> <p>A 市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校 3 年生から情緒支援学級に通学、中高は特別支援学校に通学。好きなこと（木工や昆虫図鑑を見ること）は集中して取り組むことができるが、興味が無いと席に座っていることができない。また中学・高校は太鼓部に所属し、地域の演奏会などに参加。友達も数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかという受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。</p> <p>高等部になり放課後等デイサービス「キッズサン」を利用した。</p> <p>仕事はしたいと思っていたが、またうまくいかないのではないかと、求職活動はできずにいた。</p>

	<p>【病歴】</p> <p>中学校進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。仕事を辞めた後、自宅で引きこもった生活をしていた。生活保護の担当 CW の勧めもあり、精神科病院に受診。診断名は知的障害。眠剤と安定剤を 1 日 1 回処方されて飲み始めた。受診してからは、夜少し眠れるようになったと話す。</p>
経済状況	障害基礎年金申請中 補足給付：家賃 10,000 円（申請中）生活保護受給。
相談に至る経緯	父親から正の生活の面倒が見られないので、施設に入所させたいと市役所に相談。
望んでいる暮らし	<p>正さんの希望は、「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」「自分のことは自分でできるようになりたい」「困りごと相談したい」「将来は一人で暮らしたい」と思っているが、「今は朝もなかなか起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」ことに困っている。そのため、「3 年後ぐらいにはまた働きたい」「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1 人でコツコツと集中できる作業が好き」「働くときには優しい上司がいるところが良い」と話している。友達がうまくつくれなことを気にして「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と言っている。</p> <p>自分で自立した生活というイメージがまだ持っていないが、周りの人の協力が得られれば、十分地域で生活できると、生活保護の担当者は考えている。</p> <p>正さんは、「3 年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」と言っている。</p>
本人の状況と最近の様子	<p>正さんは、こちらから話かけるとボソボソと返答するが、話をするのは好きな様子。正さんからの質問はほとんどない。正さんの見た目は年齢相応の好青年である。ただ生活に困窮しているため、服装には少し汚れが目立っていた。相手の話を「はい、はい」と返事をするので、分かっているように見えるが、なかなか理解はできない様子。</p>
その他	<p>父親の右半身に麻痺が残り、これ以上の回復は望めない状態。</p> <p>弟は、普通高校に通い、健康状態の問題は特に無い。</p>

01-2 アセスメント表

記録：相談支援センターあおぞら 相談支援専門員：与謝野一茂

相談日時	〇〇年6月5日13時~15時
氏名等	大宮 正氏、22歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 3 （月1回精神科受診）
望んでいる暮らし	全体 「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」 「困りごとは相談したい」 「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」 生活面 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」 「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができたら最高」 就労面 「3年後ぐらいにはまた働きたい」 「今は働くことの自信はないので力をつけたい」 「1人でコツコツと集中できる作業が好き」 「働くときには優しい上司がいるところが良い」
心身の状況	身長 175 cm 体重 80 キロ特に問題ない。正さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。
精神面の状況	突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。ただ自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラする感じが見られる。見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。父親を尊敬していて世話になったと思っている。
生活の自立度	朝起きるのが苦手で生活リズムがなかなか安定していない。ADL は自立している。家事は手先が器用なので練習すればできるようになるのではないかと。やり方や手順について確認する必要がある。
気持ちの自立度	家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、始めは戸惑うこともあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性もあるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。
服薬状況	夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。
経済状況	【収入面】 生活保護 【支出面】 グループホームの費用 家賃 30,000 円（家賃補助 10,000 円） 食費 20,000 円 光熱水費 15,000 円 日用品費 3,000 円 生活費（おこづかい） 20,000 円

	<p>金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>
趣味	<p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など</p>
キーパーソン	<p>父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯な様子。</p>
家族	<p>父方母方の祖父母について</p> <p>父方の祖母は県外（遠方）にいるが、母方の祖父母は他界している。</p> <p>両親と暮らしていたころは、年 1 回は家族で父方祖父母に会いに行っていた。</p>
就労	<p>手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1 人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3 年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しだいでは利用できそうである。</p> <p>スケジュールに沿った日課の理解はあり、手順書があれば自発的に作業ができる。</p>

02-1 アセスメントシート

氏名 大宮 正

記入 相談支援専門員

与謝野一茂

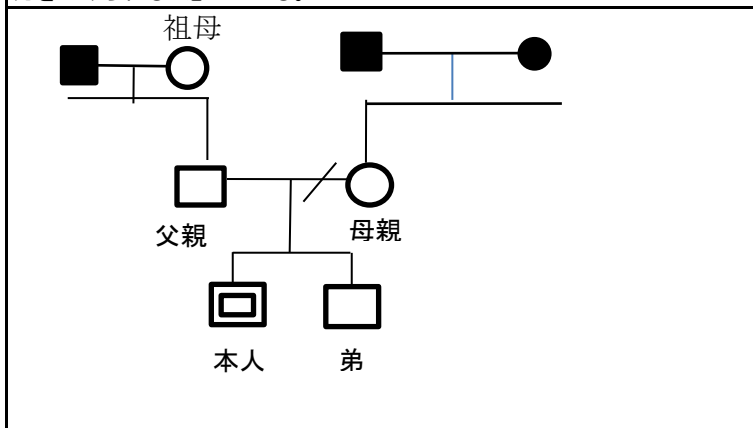
	項目			項目	項目			
	項目	介助がいるか	程度		項目	介助がいるか	程度	
日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有		衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有	
		寝返り	<input type="checkbox"/> 有			爪切り	<input type="checkbox"/> 有	
	姿勢保持	座位	<input type="checkbox"/> 有			耳掃除	<input type="checkbox"/> 有	
		立位	<input type="checkbox"/> 有			月経	<input type="checkbox"/> 有	
	移動	屋内	<input type="checkbox"/> 有			行排為泄	排尿	<input type="checkbox"/> 有
		屋外 (徒歩)	<input type="checkbox"/> 有		排便	<input type="checkbox"/> 有		
	衣類着脱	着脱行為	<input type="checkbox"/> 有		食事全般	飲食用為	<input type="checkbox"/> 有	
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有			食事状況	<input type="checkbox"/> 有	
	整容行為	歯磨き	<input type="checkbox"/> 有	時々めんどうになり声掛けが必要		調理全般	食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有
		洗顔	<input type="checkbox"/> 有	時々めんどうになり声掛けが必要	調理		<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要
		整髪	<input type="checkbox"/> 有	時々めんどうになり声掛けが必要	入浴全般	安全確認	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要
		ひげ剃り	<input type="checkbox"/> 有	時々めんどうになり声掛けが必要		入浴の準備と片付け	<input type="checkbox"/> 有	
		化粧	<input type="checkbox"/> 有			入浴	<input type="checkbox"/> 有	
	家事全般				洗濯	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要	
					洗濯物干し	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要	
					掃除	<input checked="" type="checkbox"/> 有	やったことがないので支援が必要	
					衣類整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	片づけなどは苦手、声掛けが必要	
					所持品整理	<input checked="" type="checkbox"/> 有	片づけなどは苦手、声掛けが必要	
					ペットメイク	<input type="checkbox"/> 有		
	<p>特記事項</p> <p>父親がある程度身の回りのこと（調理、洗濯、掃除など）はやってくれていた。正さんは、積極的に身だしなみを整えたり、片づけたりすることも苦手だが、声掛けがあればなんとか自分でできる。物が多く、部屋に服や小物類が溜まってしまふ。日常生活でやらなければならないことの優先順位がつけられない。家事をやった経験がないが、援助があればできるようになると予測できる（今までの生活の様子から、父親が予測）。朝起きるのが苦手なので、就労継続支援 B 型の事業所に通う時には遅刻が頻回になることが心配される。</p>							
コミュニケーション	<p>困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など</p> <p>相談支援センター「あおぞら」・・・サービス等利用計画作成 相談支援</p> <p>就労センター「はなみずき」・・・利用予定の就労継続支援 B 型</p> <p>グループホーム「にこにこハウス」・・・利用予定のグループホーム</p> <p>東村病院（内科・精神科）・・・外来通院先</p> <p>意思の表現方法</p> <p>言葉でのコミュニケーションが十分できる。最初の上司が仕事を教えていた時は、時間がかかるが分かるまで教えてくれたので、本人も安心して仕事ができている。手順が分かれば、呑み込みが早い。ただ自分から積極的に質問するタイプではなく、困ったことや心配なことがあっても自ら相談することができなかった。周りの人は分かっていると思って仕事をすすめてしまうので、本人は分からずに少しパニックになってしまうことがあった。</p>							
社会参加・移動	<p>好きなこと</p> <p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用なので木工が好き。買い物やゲームなど嫌いなこと</p> <p>怖そうな人・すぐに怒りそうな人</p> <p>移動の方法</p> <p>徒歩 これまで公共交通機関を利用する機会はなかったが、練習すれば利用できそう</p>							
家庭生活	<p>グループホームで生活をする予定</p> <p>家庭での主な介護者 父親 介護者の状況 もともとは大工。交通事故で右半身に麻痺が残り、自分のことをこなすことで精一杯な状況</p>							

経済状況	主な生活財源	生活保護受給中。
	就労による収入	預貯金
	0円/月	0円
	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎年金申請中	<input type="checkbox"/> 障害者特別手当 <input type="checkbox"/> その他
	金銭管理は、仕訳を手伝えばその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。	

動面	項目	介助が いるか	程度	特記事項
	行動面での障害1	こだわり行動 徘徊 無断外出 無断外泊 錯覚・幻視・幻聴 被害妄想 自殺願望・企画 不潔行為 異食行為	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有	
行動面での障害2	収集癖 反社会的行為 (盗癖、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有	声掛けがあれば身だしなみを整えるが、放っておかれると着替えたりできない。	
	自傷行為他者 に対する粗暴行為 器物に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 有		
	奇声や騒がしさ	<input type="checkbox"/> 有		
	パニック	<input checked="" type="checkbox"/> 有	物事の進め方が分からないと起きる。	
	多動・行動の停止	<input type="checkbox"/> 有		
	思考障害	<input type="checkbox"/> 有		
考感の情 障・害思	感情不安定	<input checked="" type="checkbox"/> 有	困ってしまうと感情も不安定になる。	
	過大・過小評価	<input type="checkbox"/> 有		

《その他》

主治医からは、薬は軽いものなので、生活が安定し、精神的に安定すればいずれ必要なくなるかもしれない。本人が困っている時に、周りが気づける関係性ができると、これ以上の薬の必要性はないと言う。そのためには生活の場でのサポート体制は欠かせない。SOSを出す力をつけられると思っている。



グループホームにこここハウスの概要

- 共同生活援助事業所(介護サービス包括型)
 - * 夜間は連絡体制のみ
- 入居定員4名 現在 男性4名利用中
- 建物 戸建住宅 5LDK
- 居室4室(8畳) 世話人室 リビング(共有スペース)、お風呂、トイレ、洗面所、キッチン共有
- 立地環境 住宅地の一角にあり、すぐ隣には公園がある。歩いて5分の所にコンビニ、スーパーなどがあり、駅までも徒歩15分程度。
- サービス管理責任者 — 岩槻 みきお
 - * 普段は別にある事務所にいて、他に2ヶ所のホームも見ている。
- 世話人 — 杉戸 ひとみ 月～金 6:00～9:00、15:00～20:00
(1日 計8h勤務)
- 生活支援員 — 佐山 けんじ 土・日 8:30～17:30(8h勤務)

19

就労継続支援B型事業所「はなみずき」の概要

事業所所在地の環境	人口は約10万人、人口の約30%は65歳以上の高齢者であり、人口の5%にあたる約5千人が障害者手帳を保持している。 県庁までは自動車1時間、都市圏までは電車1時間程度かかる。 産業は、新都市開発による工場誘致により第二次産業が増加傾向にある。 公共交通機関は地元の鉄道、バスがあるが、自動車が移動手段の中心である。	
地域の社会資源の状況	障害福祉サービス事業は、市内の社会福祉法人やNPO法人により、就労継続支援A型・B型、生活介護、生活訓練、就労移行支援の各事業が整備されている。 相談窓口として、障がい者相談支援センター1ヶ所、特定相談事業所8ヶ所があり、障害者就業・生活支援センターは隣市にある。	
地域の地場産業	自動車産業が盛んな地域であり、部品の製造をはじめとした下請け企業が多い。以前は、家内工業の工場がたくさんあり、職親制度等も利用して障害のある人の雇用がされていたが、最近はほとんどが閉鎖・倒産している会社が増えている。	
事業所の概況	多機能型事業所 就労移行支援事業 定員12名 就労継続支援B型事業 定員20名 現在の利用者は、身体・知的・精神など多様な障害種別の人が利用している。 正さんが利用を予定しているグループホームからはバスで10分(徒歩ならば45分かかる)の距離である。	
職員構成	管理者1名(60代女性) サービス管理責任者1名(春日部一夫:40代男性) 職業指導員3名(40代女性、60代男性、20代女性) 生活支援員2名(30代女性、30代男性) 就労支援員1名(30代女性)	
日課	*平日 9:30～16:00 *土日祝日は休所	
主な作業内容	作業内容	工賃の状況
	カフェ(接客、皿洗い、調理補助等)	時間 200円～400円
	組み立て作業	時間 200円～400円
	施設外就労活動(近所の運送会社での倉庫内作業・袋詰め作業)	時間 400円～580円

18

03 児童期の情報（放課後等デイサービス終了時評価）

お名前 : 大宮 正

作成年月日: ○○ 年 3 月 31 日

○保護者様の思い

特別支援学校高等部卒業後、就労できるようになってほしい。

○到達目標

長期(内容、期間等): 特別支援学校高等部卒業する時に就労できるよう基本的なルールを身につけましょう。

短期(内容、期間等): スケジュールや手順書をもとにして作業をすることやお金の管理ができるようになりましょう。

○具体的な支援目標と終了時の様子

項目	支援目標	終了時の様子
コミュニケーション (求められることがわかる)	スケジュールや手順書がわかり、自発的に行動がとれるようにしましょう。	スケジュールカードを見ながら、スムーズに日常の活動することができました。また、写真をそえた文章で示された手順書をたよりにボールペンの組み立てや袋詰め作業などの自立訓練課題やシイタケ箱の制作などの木工作業に取り組むことができました。スケジュールカードではデジタルの時計の時間を合わせて読み取ることができ、時間についての理解が進みました。
金銭管理	課題や作業後のごほうびのシールをためて、コンビニで自分の好きなお菓子を買います。	自立訓練課題や作業後にもらったごほうびのシールを10個ためて、コンビニで好きなお菓子を買いました(トークンシステム)。コンビニではお菓子の値段を確認して、レジでのお金のやりとりができました。お金についてはコインや紙幣のマッチングの練習をし、商品の値段とお金を理解することができました。
あいさつ	適切なあいさつができるようになりましょう。	キッズサンを利用した時に、職員に対しあいさつを心がけることにより、「こんにちは」「さようなら」「ありがとうございました」など適切なあいさつが身につきました。身近でない人にはあいさつができないことがあります。

その他	就労に対する取り組みでは、特別支援学校高等部の「産業現場等における実習」(現場実習)では、事業所での取り組みの情報を共有するなど作業態度の向上に向けた取り組みを行い、実習先の製造部品を作る工場に就職することができました。これからも正さんらしく頑張ってください。 集団活動は苦手ですが、絵と文字のスケジュールをたよりに気のあった2~3人の友達と事業所の様々な行事に参加することができました。また、夏休み等の長期休みには、公共交通機関を利用して、事業所の友達と動物園に行きました。その際、昆虫館ではとても興味深く観察し、楽しそうな様子がうかがえました。
-----	---

放課後等デイサービス事業所「キッズサン」

保護者様氏名 大宮 隆 (印)

児童発達管理責任者 川口 いずみ (印)

04 サービス担当者会議 事前準備シート

		○それぞれにどんなことを確認しますか？または確認されると思いますか？
本人	大宮 正	
父親	大宮 隆	
相談支援専門員	与謝野 一茂	
A市福祉課	上尾 みずほ	
共同生活援助 サービス管理責任者	岩槻 みきお	
世話人	杉戸 ひとみ	
就労継続支援B型 サービス管理責任者	春日部 一夫	
生活支援員	田中 みさと	

04-2 感想シート(サービス担当者会議)

	感 想
①サービス管理責任者の視点として、大切だと感じたこと。	
②本人の視点から、考えられること。	
③サービス担当者会議の意義。	

配付資料 05 サービス担当者会議出席者とシナリオ (例)

	氏 名
本人	大宮 正
父親	大宮 隆
相談支援専門員	与謝野 一茂
A市福祉課	上尾 みずほ
共同生活援助にこここハウス サービス管理責任者	岩槻 みきお
〃 世話人	杉戸 ひとみ
就労継続支援B型はなみずき サービス管理責任者	春日部 一夫
〃 生活支援員	田中 みさと

<各種研修資料に登場するその他の人物>

- 共同生活援助にこここハウス
 - 生活支援員 … 佐山 けんじ
 - 管理者 … 坂戸 ゆかり
- 就労継続支援B型はなみずき
 - 職業支援員 … 熊谷 二郎
 - 管理者 … 所沢 洋子
 - 就労支援員 … 鳩山 さちこ
- 東村医院 … 東村 医師
- 放課後等デイサービス事業所キッズサン 児童発達支援管理責任者 … 川口 いずみ

サービス担当者会議 シナリオ (例)

人物名	セリフ (例)
与謝野	<p>みなさんこんにちは。今日は、大宮正さんのサービス担当者会議にご出席いただきありがとうございます。今日の会議では、正さんの「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人間になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望をかなえるために、どんなことに取り組んでいけばよいのかということをお聞きしたいと思っております。それでは、出席者の自己紹介をお願いします。</p> <p>(出席者が役名で一人ひとり自己紹介をする)</p>

与謝野	ありがとうございました。正さんからは、グループホーム「にこにこハウス」に入居して、就労継続支援B型事業所「はなみずき」に通所しながら自立を目指したいとかがっていますが、そのあたりのご希望を改めて教えていただけますか。
正	僕は、自分のことは自分でできるようになりたいと思っています。でも、今は朝もなかなか起きられないし、掃除や洗濯、調理もできないで困っています。
与謝野	そうですか。仕事についてのご希望はありますか。
正	3年後くらいにはまた働きたいと思っています。でも、今は働くことの自身はありません。だから、力をつけたいです。1人でコツコツと集中できる作業は好きです。働くときには優しい上司がいるところがいいですね。
与謝野	他に生活をしていくうえでの希望はありますか。
正	友達が上手くつくれないんです。一緒に遊ぶ友達が欲しいです。できれば、昆虫の話ができる友達ができたら最高です。
与謝野	正さん、お話しいただいてありがとうございました。それでは、お父様のお考えも聞かせていただけますか。
隆	そうですね。私も体が不自由になってしまい、正の面倒は見られません。それで、施設入所を考えたのですが、正は「力をつけて自立したい」と言っています。それで私も気持ちが変わって、今は、正には福祉サービスを利用して自立してほしいと思っています。あせらずにグループホームで生活の練習をして力をつけてほしいです。
与謝野	ありがとうございました。これからグループホームを利用するということで、お父様から何か分からないことや質問がありますでしょうか。
隆	そうですね・・・。 <u>※アドリブでOK</u> 例) グループホームを利用するとなると、1か月でどのくらいの費用がかかるのか心配なのですが・・・。
与謝野	それでは今のお父様の質問に〇〇さん（質問の内容によって振る相手を変える）からお答えいただけますか。
〇〇	<u>※質問に対し答えること。</u>
与謝野	お父様から他にご質問がありますか？正さんから何かあれば遠慮なくどうぞ。
正 OR 隆	<u>※アドリブでOK</u>
与謝野	それでは〇〇さんよりお答えいただけますか。
〇〇	<u>※質問に対し答えること。</u>

与謝野	みなさん、ありがとうございました。先日、正さんは「にこにこハウス」の体験利用をされたと思いますが、どんな感じだったか教えていただけますか。
正	いやあ。朝起きるのが苦手なんですよね。なんか迷惑かけちゃったんじゃないですか。洗濯も掃除も調理も今までほとんどやったことがないので教えてもらいました。できるようにになりたいですね。
与謝野	どうですか。そのあたりのことも含めて、「にこにこハウス」の岩槻さんと杉戸さんからお話をいただけますか。
岩槻	はい。とてもやる気がある方ですから、正式に利用されてから掃除、洗濯、調理などの日常生活の力は少しずつつけていけば大丈夫なのではないかと思います。
杉戸	確かに、朝起きるのは苦手なようでしたね。就寝時間なども影響しているのかもしれないから、就寝時間を相談して決めていくなどすることで苦手を克服できるかもしれないですね。
与謝野	ありがとうございました。正さんから他に思っていることがありましたら教えてもらえますか。
正	いやあ。困りごとがあったときに相談に乗ってくれる人がいれば安心できると思っています。
与謝野	そうですか。その点はにこにこハウスとしてはどうですか？
岩槻	※アドリブでOK
与謝野	ありがとうございました。にこにこハウスの岩槻さんや杉戸さんから何か正さんやお父様にご質問やお話ししたいことはありますか？
岩槻 OR 杉戸	そうですね・・・。 ※アドリブでOK 例) 正さんは昆虫の図鑑を見るのが好きっておっしゃってましたけど、ほかに楽しいと思えるようなことは何かあったら教えてください。
正 OR 隆	※アドリブでOK
与謝野	はい。皆さんありがとうございました。一旦、まとめたいと思いますが、正さんの「にこにこハウス」での目標は、自分のことは自分でできるようにという希望をかなえるために、まずは、グループホームの生活に慣れることを最優先に目標設定を考えていくということになりそうですね。
与謝野	さて、次に通所サービスの利用を考えて、「はなみずき」の体験利用もされましたが、正さんの感想はいかがでしたか。
正	はい。できれば製造や木工関係の仕事に就きたいです。「はなみずき」では組み立ての仕事をしたいたのですが、いろいろな作業をしてみて得意なことを見つけたいと思います。

与謝野	そうですか。「はなみずき」の春日部さんと田中さんからもそのあたりのご意見をいただければと思っているのですが。
春日部	はい。正さんは手先が器用で丁寧に仕事をこなしてくれていました。楽しい雰囲気 のなか、正さんのできることを増やしていくことはできると思っています。
田中	体験利用の時は、本当に一生懸命やってくれていました。正式に利用されてからは、 正さんがおっしゃるようないろいろな作業をしてみて得意なことを見つけて自信 につなげてもらえたらと思います。
与謝野	ありがとうございました。春日部さんや田中さんから正さんやお父様に何かお聞き したいことはありますか？
春日部 OR 田中	そうですね・・・。 ※アドリブで OK 例) 正さんは、以前は製造の仕事をしていたとのことですが、どんな仕事だったの ですか？
正 OR 隆	※アドリブで OK
与謝野	お父様の方から何か正さんの仕事のことについて、確認しておきたいようなことは ありますか？
正 OR 隆	そうですね・・・。 ※アドリブ OK 例) はなみずきさんには、どんな仕事があるのでしょうか？
春日部 OR 田中	※アドリブで OK
与謝野	それでは一旦、正さんの「はなみずき」での方向性をまとめましょう。正さんがこ れから働いていくための力をつけるために、いろいろな作業経験をまずは積んでい き自信をつけていけるような目標設定になるでしょうかね。
与謝野	皆さんありがとうございました。他にどなたでも結構ですので、皆さんから関係者 に何か聞きたいこととかあれば遠慮なくどうぞ。 ※あれば指名する。
〇〇	※それぞれアドリブで答えていく。
与謝野	ありがとうございました。それでは最後に市役所の上尾さんから一言いただいてよ ろしいでしょうか。
上尾	※アドリブで OK (市の立場でできることを考えて発言する)
与謝野	それでは、今日は皆さんありがとうございました。モニタリングは令和元年の8月 になりますので、よろしくお願いします。

06-01 サービス等利用計画(案)

利用者氏名	大宮 正	障害支援区分	区分 3	相談支援事業者名	相談支援センターあおぞら		
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額		計画作成担当者	与謝野一茂		
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$				
計画作成日	〇〇年 6月 5日	モニタリング期間(開始年月)	〇〇年 8月	利用者同意署名欄			
利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	<p>正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようにになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>						
総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型事業所では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみをみつけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。</p>						
	長期目標	<p>① グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ② 就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③ 相談する力をつける。 ④ この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だちとの活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>					
	短期目標	<p>① グループホームの日常生活に慣れる。 ② 就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③ わからないことや困っていることを相談する。 ④ 昆虫等の趣味や、友だちとの活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>					
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	スケジュールを覚えて生活リズムを身につけます。掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型事業所 月～金	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりを相談できるようになる	6ヶ月	グループホーム 毎日就労継続支援B型事業所 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	グループホームで一日の出来事を報告します。仕事については、就労継続支援事業所で相談します。服薬して定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみをみつきたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動との等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型事業所 相談支援事業所	昆虫等の趣味や、友だちとの活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	1ヶ月	

配付資料 06-02 サービス等利用計画

利用者氏名	大宮 正	障害支援区分	区分 3	相談支援事業者名	相談支援センターあおぞら			
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX###	利用者負担上限額		0 計画作成担当者	与謝野一茂			
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$					
計画作成日	令和元年 6月25日	モニタリング期間(開始年月)	令和元年 8月	利用者同意署名欄				
利用者及びその家族の生活に対する意向 (希望する生活)	正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。 父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。							
総合的な援助の方針	「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次へのステップへの課題を整理する。							
長期目標	一人暮らしに向けて課題を整理していく							
短期目標	グループホームなど、新しい暮らしに慣れていく							
優先順位	解決すべき課題(本人のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量(頻度・時間)	提供事業者名(担当者名・電話)			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	にこここハウスの生活に慣れるようグループホームの職員と協力しながら支援を行います。また、一人暮らしに向けた課題を確認して行きます。	12ヶ月	グループホーム 毎日	にこここハウス サービス管理責任者 岩槻 生活支援員 佐山 世話人 杉戸	にこここハウスでの生活リズムに慣れていきます。	3ヶ月	
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	はなみずきで毎日通えるようになり、作業を通して働く事への自信を取り戻せるよう支援します。	12ヶ月	就労継続支援B型事業所 月～金	はなみずき サービス管理責任者 春日部 生活支援員 田中	毎日、はなみずきに通って作業をやります。	3ヶ月	
3	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりしたことを相談できる環境を整えていきます。	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型事業所 月～金 相談支援事業所 随時 病院 4週間に1回 土曜	にこここハウス 杉戸・佐山・岩槻 はなみずき 田中・春日部 あおぞら 与謝野 東村病院 東村	にこここハウスやはなみずきの担当者に相談できるようにします。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
4	楽しみをみつけない。	昆虫等の趣味や、友だちとの活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 就労継続支援B型事業所 相談支援事業所	にこここハウス 岩槻 はなみずき 春日部 あおぞら 与謝野	昆虫等の趣味や、友だちとの活動等の生活上の楽しみについて話を聴かせてください。	1ヶ月	

07 課題の整理表

グループ _____ 利用者名 大宮 正 さん

No	サービス担当者会議で確認された解決すべき課題	現在の利用者の状況・環境の状況 (事実に関することを記載)	支援者の気になることや推測できること 及び事例の強み(ストレングス) ~かもしれない。~のようだ・・・etc	解決すべき課題 (事業所としてこれから支援をしていく上での)
	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。 (奇数グループのみ)			
	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。 (偶数グループのみ)			
	困りごとは相談したい。 (奇数・偶数グループ共通)			
	楽しみを見つけたい。 (奇数・偶数グループ共通)			

08 課題の整理表（共同生活援助）モデル

グループ 利用者名 大宮 正 さん

No	サービス担当者会議で確認された解決すべき課題	現在の利用者の状況・環境の状況 (事実に関することを記載)	支援者の気になることや推測できること 及び事例の強み（ストレングス） ～かもしれない。～のようだ・・etc	解決すべき課題 (事業所としてこれから支援をしていく上での)
	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	知的障害（軽度）障害支援区分3 小学校3年生から情緒支援の特別学級に移り、中学校は特別支援学校に進学。中学進学の際、児童相談所で軽度の知的障害の判定を受けた。高等部進学を機に児童発達支援を行う放課後等デイサービス事業所を利用した。 特別支援学校高等部を卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと1年間働いたが、上司が変わってからは、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしてきた。	自立した生活のイメージは持てていない様子だが、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」と思っているようだ。	○身の回りのことなどできることを増やしていくこと。
			「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1人でコツコツと集中できる作業が好き」と就労意欲はあるが、自信を失っている。「朝もなかなか起きられない」ことを自覚している。	○きちんと仕事をしていくためには朝、きちんと起きられるようにすること。
	困りごとは相談したい。	困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると素直になって長続きする。	相手の話は、なかなか理解はできない。丁寧に教わると安心できる。	○自分のことを理解してくれる相談できるひとを見つけること。
	楽しみをみつきたい。	趣味は、昆虫の図鑑を見ること、手先が器用なので木工が好き。お菓子やケーキなどの買い物が好き。	好きなことは集中して取り組むことができる。「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができれば最高」と思っているようだ。	○一緒に遊ぶことのできる友達を見つけること。

09 課題の整理表（就労継続支援B型）

グループ 利用者名 大宮 正 さん

No	サービス担当者会議で確認された解決すべき課題	現在の利用者の状況・環境の状況（事実に関することを記載）	支援者の気になることや推測できること及び事例の強み（ストレングス） ～かもしれない。～のようだ・・etc	解決すべき課題（事業所としてこれから支援をしていく上での）
	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	知的障害（軽度）障害支援区分3 小学3年生から自閉症・情緒支援の特別学級に移り、小学6年生の時、軽度の知的障害の判定を受けた。中学からは特別支援学校へ、その後高等部に進学。高等部進学を機に放課後等デイサービスの児童発達支援を利用した。 高等部卒業後、製造部品の工場に就職。面倒見の良い上司のもと安定して働いたが、1年後に上司が変わり、不安を訴えて退職。以後、引きこもりがちな生活をしてきたが、今回、グループホーム「にこにこハウス」に入居予定。	・「3年後を目途に一般就労したいが、今は働くことに自信がない」とのこと。就労意欲はあるが、自信を失っている様子。 ・「1人でコツコツと集中できる作業がすき」なようだ。 ・スケジュールや手順書があれば日課や作業内容が理解しやすい。 ・公共交通機関は練習すれば利用できると思われる。 ・朝起きるのが苦手ということを感じている。 ・「自分のことは自分でできるようになりたい」とのこと。自立したいという気持ちが強いようだ。	○ できることを増やして、働く自信を取り戻すこと。 ○ 遅刻をしないよう朝起きられるようにすること。 ○ 公共交通機関を一人で利用できるようにするため練習。
	困りごとは相談したい。	困っても自ら相談できない。会話はできるが、自分の意思を正確に伝えることは難しい。	集団の中での聞き取りや話の理解は困難だが、一対一で丁寧に話をするとう安心して話せる様子。	○ 相談できる相手を見つけること。
	楽しみをみつけない。	趣味は昆虫図鑑を見ること。昆虫の話ができる友達がほしいと思っている。	中学の頃はよくしゃべる子だった様子。好きなことには集中して取り組むことができる。	○ 話の出来る友達を作ること。

利用者氏名:

作成年月日:

<p>利用者及びその家族の生活 に対する意向(希望する生活)</p>	<p>正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
<p>総合的な援助の方針</p>	<p>「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成されるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次のステップへの課題を整理する。</p>

<p>長期目標(内容・期間等)</p>	
<p>短期目標(内容・期間等)</p>	

支援目標及び支援計画等

支援目標	具体的な支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	サービス提供機関 (提供者・担当者等)	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

令和 年 月 日

利用者氏名 印

サービス管理責任者氏名 印

利用者氏名: 大宮 正 さん

作成年月日: _____ / _____ / _____

<p>利用者及びその家族の生活 に対する意向(希望する生活)</p>	<p>正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。 父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
<p>総合的な援助の方針</p>	<p>「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次のステップへの課題を整理する。</p>

<p>長期目標(内容・期間等)</p>	<p>困りごとは相談して解決できるようにし、生活をしていく上での力や生活リズムを身につけていく(1年)</p>
<p>短期目標(内容・期間等)</p>	<p>グループホームでの生活に慣れる。(6か月)</p>

支援目標及び支援計画等

支援目標	具体的な支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	サービス提供機関 (提供者・担当者等)	優先 順位
<p>自分でできることを増やしていけるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除や洗濯、調理など、まずはできることから取り組んでもらいます。 ・調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。 	<p>毎日</p>	<p>杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)</p>	<p>3</p>
<p>朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるように支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・決められた時間に起きられるように、毎朝、目覚ましをかけてもらいます。 ・目覚まし音が鳴り続けていて、起きてこないときは、職員が声をかけさせてもらいます。 ・起きられない日が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。 	<p>月曜日～金曜日の 朝7時頃</p>	<p>杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)</p>	<p>2</p>
<p>生活上の分からないことや困りごとを相談できるようになれるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・分からないことや困りごとがあった場合は、世話人や生活支援員の方でいつでもお話を聞きます。 ・まずは毎日の出来事について話を聞きます。 	<p>毎日</p>	<p>杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)</p>	<p>1</p>
<p>一緒に遊ぶ友達を見つけ、楽しみを見つけられるように支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・趣味である昆虫採集等を一緒に楽しんだりできる仲間はいないか一緒に探していきます。 ・正さんが楽しいと思える新しい活動はないか一緒に考えていきます。 	<p>週末</p>	<p>岩槻(サビ管)</p>	<p>2</p>

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 利用者氏名 _____ 印 サービス管理責任者氏名 _____ 印

利用者氏名: 大宮 正 さん

作成年月日: / /

<p>利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)</p>	<p>正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
<p>総合的な援助の方針</p>	<p>「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次のステップへの課題を整理する。</p>

<p>長期目標(内容・期間等)</p>	<p>困ったり、不安なことは相談して解決できるようにし、働くための力をつけるために様々な経験を積んで自信をつける(1年)</p>
<p>短期目標(内容・期間等)</p>	<p>事業所に休むことなく通い、作業手順を覚えて作業に慣れる。(6か月)</p>

支援目標及び支援計画等

<p>支援目標</p>	<p>具体的な支援内容 (内容・留意点等)</p>	<p>支援期間 (頻度・時間・期間等)</p>	<p>サービス提供機関 (提供者・担当者等)</p>	<p>優先 順位</p>
<p>自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信が取り戻せるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> まずは組み立て作業に取り組んでもらいますが、自分自身の得手・不得手を知るために、徐々に様々な作業を体験してもらいます。 様々な作業体験ができるような就労アセスメントのプログラム作りもします。 	<p>月曜日～金曜日 9:30～16:00</p>	<p>熊谷(職業指導員)</p>	<p>1</p>
<p>遅刻をせずに事業所に通所できるようにするとともに、バスを利用したの通所ができるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自分で決めた時間に起きられるようにグループホームの方とも連絡を取り合い、支援を相談していきます。 バスの乗り方を覚えるために生活支援員と一緒にバスに乗降します。乗り方を覚えたら、一人でバスに乗降できるようにバス停で見守りをいたします。 	<p>月曜日～金曜日 8:45～9:15 16:30～17:00</p>	<p>田中(生活支援員) 春日部(サビ管)</p>	<p>2</p>
<p>困ったり、不安なことがあった場合、すぐに相談できるような環境づくりをします。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 何でも話すことができるように、毎週面談をする時間を作ります。 何か困ったことがあつたときにはいつでもスタッフが話を聞きます。 	<p>面談: 毎週水曜日 13:00～ 困ったときはいつでも</p>	<p>春日部(サビ管) 田中(生活支援員)</p>	<p>2</p>
<p>昆虫等の趣味や新たな活動を通じて話の出来る友達作りができるよう支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 好きな昆虫図鑑のことなど、事業所の仲間に同じ趣味の仲間がいらないか一緒に探します。 新しい趣味もを見つけるために他の仲間のやっている活動も紹介します。 	<p>必要に応じて</p>	<p>田中(生活支援員)</p>	<p>3</p>

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

令和 年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理責任者氏名 印

13 個別支援計画の中間評価（共同生活援助）

						利用者名 大宮 正 さん	
支援目標	達成状況の評価			現状・達成されない原因の分析等	今後の対応（支援内容・方法の変更等）	優先順位	
1 自分でできることを増やして いけるよう支援します。	達成	ほぼ 達成	○ 一部 達成	未 達成	世話人の説明をよく聞き、調理の仕方や洗濯機の使い方、掃除の仕方は少しずつできている。わからないことを自分から、確認することはできていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなみずき」に通所することには張り合いがあるようだ。 ・生活していく上での力をつけたい気持ちが強いが、毎日の生活に追われて、心にも体にも余裕がない。そのため、自分はダメだと思ってしまうようだ。 	
2 朝、起きる時間を決めて、 自分で起きて仕事に行ける ように支援します。	達成	ほぼ 達成	○ 一部 達成	未 達成	朝は目覚まし時計がなっているが、しばらくは布団から出られず、世話人さんの声掛けで起きている。本人は、「仕事に行くのが嫌だなあ」と話していた。	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなみずき」の通所を減らして、身のまわりのことに集中する日を作った方が気持ちに余裕が持てるのではないか。 	
3 生活上のわからないことや 困りごとを相談できるように なれるよう支援します。	達成	ほぼ 達成	○ 一部 達成	未 達成	毎日夕方の面接の時間には、就労継続支援B型事業所「はなみずき」の話をよくしてくれる。就労するのは不安だと言っている。本当の気持ちは相談できていないようだ。	<ul style="list-style-type: none"> ・正さんの本音も、「はなみずき」での様子も知りたい。「にこにこハウス」での様子もお知らせして、正さんの希望に合った生活を支援したい。 ・次回のサービス担当者会議（モニタリング）の際に、話し合う必要がある。 	
4 一緒に遊ぶ友達を見つけ、 楽しみを見つけられるよう に支援します。	達成	ほぼ 達成	○ 一部 達成	未 達成	仲間と昆虫の博物館に行きたいという話にはなっている。しかし、仕事に疲れていて予定が決められないようである。		

14 個別支援計画の中間評価（就労継続支援B型）

						利用者名 大宮 正 さん		
	支援目標	達成状況の評価			現状・達成されない原因の分析等	今後の対応（支援内容・方法の変更等）	優先順位	
		達成	ほぼ達成	一部達成				未達成
1	自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信が取り戻せるよう支援します。	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・「はなみずき」での活動には慣れてきた様子 ・詳細な評価は、別紙、「就労結果アセスメント票」を参照。 ・手順書や丁寧な説明があれば、集中して作業に取り組むことができ、作業の正確性や巧緻性も高く、この点はセールスポイントにできる。 ・環境の変化や予定の変更がある時にパニックにならず解決できるような訓練が必要。 ・時々就労についての不安を話す。 	<p>・「はなみずき」の利用はこのまま続けたいと思っているが、生活のと両立がうまくできない様子。</p> <p>また、就労に向けての不安があり、気持ちの整理ができない様子。</p> <p>以上のことを確認するためにも、サービスタ担当者会議を開催して、ご本人・支援者が改めて話し合う必要がある。</p>	
2	遅刻をせずに事業所に通所できるようにするとともに、バスを利用した通所ができるよう支援します。	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・バス通所はできるようになった。 ・最近になって、朝起きられずに、バスに乗り遅れることが増えた。 ・遅刻連絡はできている。 ・疲れた様子で通所してくる時もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の生活に追われて、心身ともに余裕がない様子。 今後就労に向かうためにも、日常生活を見直し、生活リズムを整えることを優先した支援が必要。 そのため、グループホームとの連携を密にして生活の様子を把握した上で支援の見直しをする。 	
3	困ったり、不安なことがあった場合、すぐに相談できるような環境づくりをします。	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に面談の時間を持ったが、自分の気持ちをうまく伝えることができるまでには至っていない。 ・自分のペースを乱されたり、せかされると、感情のコントロールができず、イライラしたりパニックになるのはわかっているようだが、すぐに相談することはできない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分に自信がなく、しばしば自分はダメだと思い、思い悩むことがあるよう。 就労アセスメントの結果を用いて、ご本人の得てとして評価できることを丁寧に伝え、その上で、強みを伸ばし、弱みを支援するという意識合わせをすることで、自信を持って生活できるよう支援していく必要がある。 	
4	昆虫等の趣味や新たな活動を通じて話の出来る友達作りができるよう支援します。	達成	ほぼ達成	一部達成	未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な日時は未定なようだが、仲間と昆虫博物館に行くことになっていると話している。 ・博物館視察を、希望者を募り、事業所の社会生活活動のひとつとして取り組めないか検討している。 		

14-2【就労アセスメント結果票】

氏名： 大宮 正 さん

	評価項目	セールスポイント	問題なし	努力ポイント	所見
基本的なルール	1 欠勤・遅刻等の連絡		○		
	2 身だしなみ			○	時々面倒になり、整容が不十分な時がある
	3 働く場のルールの理解		○		
	4 健康管理の状況			○	
	5 感情のコントロール			○	自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラしたり、パニックになることがある
社会生活	6 あいさつ		○		慣れた人には丁寧にあいさつができる
	7 会話・返事・言葉づかい			○	会話はできるが、内容を正確に理解すること、自分の意思を正確に伝えることは難しい
	8 作業上の報告・連絡			○	自ら報告、連絡することは苦手
	9 協調性			○	大集団の中では他の人が気になり落ち着かない様子
	10 仕事の準備と後片付け	○			手順書があればできる
作業態度	11 集中力の維持	○			興味をもつと集中できる
	12 作業能力の向上		○		向上はみられるが、環境の変化によってムラがある
	13 指示の内容の理解			○	早合点したり、わかっていない時でも返事をしたりするが、丁寧に説明すると理解できる
	14 作業の正確性	○			手順書があれば、作業をミスなくできる
	15 巧緻性	○			手先が器用である
作業遂行能力	16 作業時間と休憩時間の区別		○		
	17 体力		○		1日3時間程度の作業に従事できるが、精神面に左右される
	18 作業意欲			○	意欲はあるが、不安になると引きこもってしまう
	19 危険への対処		○		
	20 交通機関の利用			○	朝起きられず、バスに乗り遅れることがある

2日目モニタリング RP の流れ

*一日目のオンラインでの個別支援計画の作成及びまとめを終え、二日目に臨む前に、自宅にて、個別支援計画（用意されたもの）とモニタリング表及び、ロールプレイの配役仕掛けを読み込んでくる。

※個別支援計画は、足並みをそろえるために、こちらが用意したもので統一する。

※個別支援計画と中間評価が、受講生に提示される。

※RPの配役は、2日目スタート時にお伝えします。

【事例の背景の説明】（動画）

*GHでの生活と、はなみずきでの仕事が始まって 6か月が過ぎた。

*それぞれ生活や仕事には慣れてきたが、生活をこなすことに精一杯で、疲れてきている様子。そんな思いを話せていなかったり、仕事以外に楽しみを見つける余裕がない状況。一人暮らしをしたい気持ち、早く就職したい気持ちもあり、思い悩むことがある様子。

【受講生のワーク】

*個別支援計画と中間評価表を再度読み込み、状況を把握する。

【今回の RP の目的・意義について説明】（動画）

《RP への臨み方》

- 一日目の RP についての説明を簡単に振り返る。

(RP の意義や臨み方の PP82・83にて)

《目的・意義》

- 「サービス管理責任者から個別支援計画の中間評価に関する報告を受けた相談支援専門員が、各サービスの支援状況の共有と、支援内容の調整の必要性があると考え、サービス担当者会議を開催することとなった。」

【RP 開始までの流れ】（オンライン）

- 各グループで RP を実施。配役の確認。進め方の確認。
- にこにこハウス（GH）、はなみずき（就 B）それぞれの立場で、生活や仕事に余裕を持って臨み、次の段階を目指していくために、何をどう調整していけばよいかを、サービス担当者会議で話し合っていく。

【サービス担当者会議出席者・RPでの配役】
 《共同生活援助“にこにこハウス”グループの方》

	氏名	演じる方
本人	大宮 正	
父親	大宮 隆	
相談支援専門員	与謝野 一茂	
A市福祉課	上尾 みずほ	
共同生活援助にこにこハウス サービス管理責任者	岩槻 みきお	
// 世話人	杉戸 ひとみ	
就労継続支援B型はなみずき サービス管理責任者	春日部 一夫	
// 生活支援員	田中 みさと	

《メモ》

【RPの配役仕掛け】《共同生活援助“にこにこハウス”グループの方》

本人	大宮 正	早く就職はしたい。仕事に疲れて帰ってから何もできない日もあり、生活面にことがこなせない。朝起きられない。毎日が忙しく仕事にパワーが注げない。趣味にしたい昆虫のことができないストレスがある。 (以上の状況で、十分思いを話せてこれなかった気持ちで)
父親	大宮 隆	まずはGHで力をつけることが先ではないかと考えている。 (話し合いの中で、徐々に柔軟に生活と仕事の両立に賛同していく)
相談支援専門員	与謝野一茂	あまり仕切らず、本人の希望を聞いた上で、それぞれのサビ管に意見を言ってもらおうよう努める。
A市福祉課	上尾みずほ	話の展開を踏まえ、コメントをしていく。 例えば、各事業所内での工夫で済むことなのか、サービス支給に関する変更が必要なのか等をコメントし、相談員や各事業所と話し合いながら進めていってほしいと伝える等。
共同生活援助 サビ管	岩槻みきお	生活面は徐々に一人でできるようになっているが、毎日こなしていくには負担感があるかもしれない。生活面を調整しながら、“はなみずき”にも無理なく通い力をつけ自信を持ってほしい。話をする時間ももっと持つようにし、昆虫のことで楽しめることを考えたい。“はなみずき”での様子も知りたいし、“にこにこハウス”での姿を、“はなみずき”にもっと知らせようと思う。 (日々の詳細は、世話人に確認しながら進めていく。)
世話人	杉戸ひとみ	日々、正さんの姿を見ていて、仕事よりも生活力を付けて無理なく“はなみずき”に通うのが良いという立場で。 (正さんの姿の詳細を知っている者として話していく)
就労継続支援 B 型サビ管	春日部一夫	作業にも慣れ、わかりやすい手順書等があれば今後期待できる力があるが、悩みや不安を口にする時間をもっととるべきだと考えている。遅刻しがちなことが気になる。生活に追われ過ぎていないか、“にこにこハウス”での生活を知りたい。“はなみずき”での仕事ぶりも“にこにこハウス”に伝えたい。(日々の詳細は、生活支援員に確認しながら進めていく。)
生活支援員	田中みさと	生活も大事だけど、仕事をする力をつけていくことが、就職を目指している正さんにはよいのではと考えている立場で。 (正さんの姿の詳細を知っている者として話していく)

※この仕掛けに縛られることなく、自由に展開していくこともOK。

【RPの展開】《共同生活援助“にこにこハウス”グループの方》

- ・ZOOMでのRPがスムーズに展開するように、出だしの部分の話す順番を決めておきます。話が展開してきたら、相談支援専門員のリードの下、自由に進めていってください。

〈話し合いの発言順〉

人物名	発言内容
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開始の挨拶と開催趣旨の説明（既に知っている関係なので自己紹介はしない） ・正さんの最近の様子について、途中言葉をはさみながら伺っていく。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを話していく。
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんに話を振り、現状を知っているかどうかの確認をしていく。
父	<ul style="list-style-type: none"> ・何となく様子は聞いていたが、細かいことは今回教えてもらいたいという旨の発言を。生活の力をつけるのが先だと思ふ気持ちを出しながら。
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所に、正さんの様子を聞いていく。“にこにこハウス”のサビ管へ
岩槻	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での正さんの姿の概要を説明し、世話人へ詳細説明を振っていく
杉戸	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での様子を伝えていく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での様子を整理して、改めて正さんに思いを聞く。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・聞かれたことに答え、思いを話していく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”の様子を聞いていく。サビ管へ
春日部	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での仕事ぶりの概要を説明し生活支援員へつなぐ
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での様子を伝えていく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での様子を整理して、改めて正さんに思いを聞く。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・聞かれたことに答え、思いを話していく
父	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所や正さんの話を聞いた上での感想や思いを話す。
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を整理し、どこから改善していけばよいか発言を求めていく（それまでの展開の中で、どの部分がポイントになるかを見極め振っていく）

以降、会議を展開させていってください。

【サービス担当者会議出席者・RPでの配役】
《就労継続支援B“にこにこハウス”グループの方》

	氏名	演じる方
本人	大宮 正	
父親	大宮 隆	
相談支援専門員	与謝野 一茂	
A市福祉課	上尾 みずほ	
共同生活援助にこにこハウス サービス管理責任者	岩槻 みきお	
// 世話人	杉戸 ひとみ	
就労継続支援B型はなみずき サービス管理責任者	春日部 一夫	
// 生活支援員	田中 みさと	

《メモ》

【RPの配役仕掛け】《就労継続支援B“はなみずき”グループの方》

本人	大宮 正	今は、就労よりも早くひとり暮らしをしたい思いが強いが、生活面がこなせていない。もちろん仕事のカも徐々につけていきたい。朝起きられず遅刻をしてしまうことに引け目を感じている。工作中予定の変更等ペースが身ら出ると、どうしてよいか困ってしまうことがあるが、上手く言えていない。昆虫の博物館に行きたいが自分では予定を立てられない。 (以上の状況で、十分思いを話せてこれなかった気持ちで)
父親	大宮 隆	一人暮らしをすることよりも早く就職をすることが先ではないかと考えている。(話し合いの中で、徐々に柔軟に仕事と生活の両立に賛同していく)
相談支援専門員	与謝野一茂	あまり仕切らず、本人の希望を聴いた上で、それぞれのサビ管に意見を言ってもらおうよう努める。
A市福祉課	上尾みずほ	話の展開を踏まえコメントをしていく。 例えば、各事業所内での工夫で済むことなのか、サービス支給に関する変更が必要なのか等をコメントし、相談員や各事業所と話し合いながら進めていってほしいと伝える等。
共同生活援助 サビ管	岩槻みきお	生活面は徐々に一人でできるようになっているが、毎日こなしていくには負担感があるかもしれない。生活面を調整しながら“はなみずき”にも無理なく通い力をつけ自信を持ってほしい。話をする時間ももっと持つようにし、昆虫のことで楽しめることを考えたい。“はなみずき”での様子も知りたいし、“にこにこハウス”での姿を“はなみずき”にもっと知らせようと思う。(日々の詳細は、世話人に確認しながら進める)
世話人	杉戸ひとみ	日々正さんの姿を見ていて、仕事よりも生活力を付けて無理なく“はなみずき”に通うのが良いという立場で。 (正さんの姿の詳細を知っている者として話していく)
就労継続支援B 型サビ管	春日部一夫	作業にも慣れ、わかりやすい手順書等があれば今後期待できる力があるが、悩みや不安を口にする時間をもっととるべきだと考えている。遅刻しがちなことが気になる。生活に追われ過ぎていないか“にこにこハウス”での生活を知りたい。 “はなみずき”での仕事ぶりも“にこにこハウス”に伝えたい。(日々の詳細は、生活支援員に確認しながら進めていく。)
生活支援員	田中みさと	生活も大事だけど、仕事をする力をつけていくことが、就職を目指している正さんにはよいのではと考えている立場で。 (正さんの姿の詳細を知っている者として話していく)

※この仕掛けに縛られることなく、自由に展開していくこともOK。

【RPの展開】《就労継続支援B“はなみずき”グループの方》

- ・ZOOMでのRPがスムーズに展開するように、出だしの部分の話す順番を決めておきます。話が展開してきたら、相談支援専門員のリードの下、自由に進めていってください。

〈話し合いの発言順〉

人物名	発言内容
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・会議開始の挨拶と開催趣旨の説明（既に知っている関係なので自己紹介はしない） ・正さんの最近の様子について、途中言葉をはさみながら伺っていく。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを話していく。
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・お父さんに話を振り、現状を知っているかどうかの確認をしていく。
父	<ul style="list-style-type: none"> ・何となく様子は聞いていたが、細かいことは今回教えてもらいたいという旨の発言を。仕事の力をつけ就労するのが先だと思ふ気持ちを出しながら。
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所に、正さんの様子を聞いていく。“はなみずき”のサビ管へ
春日部	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での仕事ぶりの概要を説明し生活支援員へつなぐ
田中	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での様子を伝えていく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”での様子を整理して、改めて正さんに思いを聞く。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・聞かれたことに答え、思いを話していく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“はなみずき”の様子を聞いていく。サビ管へ
岩槻	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での正さんの姿の概要を説明し、世話人へ詳細説明を振っていく
杉戸	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での様子を伝えていく
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・“にこにこハウス”での様子を整理して、改めて正さんに思いを聞く。
正	<ul style="list-style-type: none"> ・聞かれたことに答え、思いを話していく
父	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所や正さんの話を聞いた上での感想や思いを話す
与謝野	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を整理し、どこから改善していけばよいか発言を求めていく（それまでの展開の中で、どの部分がポイントになるかを見極め振っていく）

以降、会議を展開させていってください。

利用者氏名: 大宮 正 さん

作成年月日: / /

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごととは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。
総合的な援助の方針	「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次のステップへの課題を整理する。

長期目標(内容・期間等)	困りごととは相談して解決できるようにし、生活をしていく上での力や生活リズムを身につけていく(1年)
--------------	---

短期目標(内容・期間等)	グループホームでの生活に慣れる。(6か月)
--------------	-----------------------

支援目標及び支援計画等

支援目標	具体的な支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	サービス提供機関 (提供者・担当者等)	優先 順位
自分でできることを増やしていけるよう支援します。	・掃除や洗濯、調理など、まずはできることから取り組んでもらいます。 ・調理器具の使い方や料理の作り方、洗濯機の使い方や干し方、掃除機のかけ方などを丁寧に教えます。	毎日	杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)	3
朝、起きる時間を決めて、自分で起きて仕事に行けるように支援します。	・決められた時間に起きられるように、毎朝、目覚ましをかけてもらいます。 ・目覚ましが続いていて、起きてこないときは、職員が声をかけさせてもらいます。 ・起きられない日が続くようであれば眠前薬の時間を相談します。	月曜日～金曜日の 朝7時頃	杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)	2
生活上の分からないことや困りごとを相談できるようにするよう支援します。	・分からないことや困りごとがあった場合は、世話人や生活支援員の方でいつでもお話を聞きます。 ・まずは毎日の出来事について話を聞きます。	毎日	杉戸(世話人) 佐山(生活支援員)	1
一緒に遊ぶ友達を見つけ、楽しみを見つけられるように支援します。	・趣味である昆虫採集等を一緒に楽しんだりできる仲間はいないか一緒に探していきます。 ・正さんが楽しいと思える新しい活動はないか一緒に考えていきます。	週末	岩槻(サビ管)	2

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

令和 年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理責任者氏名 印

利用者氏名: 大宮 正 さん

作成年月日: / /

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	正さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後はひきこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、正さんの面倒を見られなくなった。正さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」と言う気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友達が欲しい」と思っている。父親は「私も体が不自由になってしまい、正の面倒はみられません。正には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。
総合的な援助の方針	「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう、グループホーム、就労継続支援B型に慣れて、次のステップへの課題を整理する。
長期目標(内容・期間等)	困ったり、不安なことは相談して解決できるようにし、働くための力をつけるために様々な経験を積んで自信をつける(1年)
短期目標(内容・期間等)	事業所に休むことなく通い、作業手順を覚えて作業に慣れる。(6か月)

支援目標及び支援計画等

支援目標	具体的な支援内容 (内容・留意点等)	支援期間 (頻度・時間・期間等)	サービス提供機関 (提供者・担当者等)	優先 順位
自分の得手を知り、できることを増やして、働く自信が取り戻せるよう支援します。	・まずは組み立て作業に取り組んでもらいますが、自分自身の得手・不得手を知るために、徐々に様々な作業を体験してもらいます。 ・様々な作業体験ができるような就労アセスメントのプログラム作りもします。	月曜日～金曜日 9:30～16:00	熊谷(職業指導員)	1
遅刻をせずに事業所に通所できるようにするとともに、バスを利用する通所ができるよう支援します。	・自分で決めた時間に起きられるようにグループホームの方とも連絡を取り合い、支援を相談していきます。 ・バスの乗り方を覚えるために生活支援員と一緒にバスに乗降します。乗り方を覚えたら、一人でバスに乗降できるようにバス停で見守りをいたします。	月曜日～金曜日 8:45～9:15 16:30～17:00	田中(生活支援員) 春日部(サビ管)	2
困ったり、不安なことがあった場合、すぐに相談できるような環境づくりをします。	・何でも話すことができるように、毎週面談をする時間を作ります。 ・何か困ったことがあつたときにはいつでもスタッフが話を聞きます。	面談: 毎週水曜日 13:00～ 困ったときはいつでも	春日部(サビ管) 田中(生活支援員)	2
昆虫等の趣味や新たな活動を通じて話の出来る友達作りができるよう支援します。	・好きな昆虫図鑑のことなど、事業所の仲間と同じ趣味の仲間がいなくて一緒に探します。 ・新しい趣味も見つけるために他の仲間のやっている活動も紹介します。	必要に応じて	田中(生活支援員)	3

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意致しました。

令和 年 月 日 利用者氏名 印 サービス管理責任者氏名 印

令和4年度サービス管理責任者等基礎研修 演習スケジュール（受講者用）

日 程	受講方法	内 容
受講者各自	WEB 聴講①	①全体演習ガイダンス ②個別支援計画の作成について <ul style="list-style-type: none"> ・事例の理解 ・サービス担当者会議のロールプレイ ・課題整理表の作成
1日目 (各日程)	オンライン 演習①	①個別支援計画の作成について ※グループワーク <ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議の意義 ・課題整理表の作成 ・個別支援計画の作成
受講者各自	WEB 聴講②	①個別支援計画の作成について（まとめ） ②個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）について <ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング表の理解 ・ロールプレイの準備
2日目 (各日程)	オンライン 演習②	①個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）について ※グループワーク・ロールプレイ <ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当会議（モニタリング） ・個別支援計画の修正 ②演習全体の振り返り
受講者各自	WEB 聴講③	①演習全体のまとめ

※別紙、「研修参加にあたっての手引き」を確認し、ステップ順に進めてください。

※事前学習は、必ず WEB 聴講より事前に実施してください。